

# 思 い 出 二 つ 三 つ

## 新 庄 よ し こ

先生は文人としての面をかなり幅広くまた豊かにもってお

られた。詩に、和歌に、俳句に、時には川柳さえも、それらはほとんど日常の幼稚園風景を筆太の字で。この字がまた近頃の何々派をとうの昔に超えて特徴があり、紙反古の裏などに何げなくぶつけたように書いて見せて下さった。これを押見してあたかも先生の御性格を見るようで、そう思いながらその紙片を眺めたものである。

詩人であった先生は長詩なども作られた。私は詩はあまり興味がなかったが、イギリスの有名なウォーズワースの雨の詩だけはなんとなく好きであった。

雨はどこにもふっている

うちにも木にもふっている

海の上にもふっている

わたしの傘にもふっている

ある日おはなしの時間にみんなによんできかせてから一しよにくちずさんでみた。身近な情景であり、ふっているふっているの繰り返しがいかに幼児むきで心に通じるものがあったのか、それから吟誦という言葉もあてはめてみてよく唱えたものである。先生が廊下のゆきずりにふと聞かれたらしく、これをとり上げたことを喜んで下さったことで、私は大そう力を得たように嬉しかった。

音楽についてもそうであった。この鑑賞が幼児教育に大切

な一役で、これによって心を豊かにするようにと私たちを集めてレコードをかけ解説までして下さったものである。大正十一、二年ごろはまだ若かったが洋楽にはうかつた。幼稚園唱歌とか古来の邦楽に耳なれているものにはすぐにはとりつかれなかったが、先生の御熱心に、これはおろそかにはできないと心を勵ましてユーモレスク、スプリングソングなどきいているうちに、段々音に親しみがでて少しずつわかつてきたように思われた。ことにスプリングソングは幼児も喜んで聞き、静かに音楽を聞くという態度さえみえてきて、先生がわれわれ大人の指導をまずと考えられた意のありがたさに気がついたのであった。

先生が私たちに洋装をおすすめになった時があった。多分大震災のあと、やっと仮園舎に移ってからの大正十三年の夏ごろからか、にわかには一回そろって洋装で幼稚園に通うようになった。今なら当り前で、和服を着ている方がおかしなわけであるが、その頃は大分校内のここかしこで話題になったようである。及川先生のが今ありありと思ひ出される。スカートは鼠色で上衣は黒、花壇のそばに立たれた姿は、写真でイタリあたりに見る人のようであった。菊池先生は若い新卒なので不思議もなし、私はわざわざ麴町の何とかいう店にいい布があるというので買ってきて、その上帽子までかぶり、倉

橋先生が洋装の要は歩き方にあるとおっしゃった一言を忘れず歩いたものである。ある日裏門から入ろうとした時すれちがいに教育の下田次郎教授にバッタリお会いした。おじぎのときは何ともなくいつもの御様子であったが、このあと笑いを我慢なさった口もとの何ともいえぬ動きをチラとみてハツとしてしまった。颯爽の気もちがもろくもくずれて、またもとの姿で通うことにした。倉橋先生が何で洋装をおすすめになったのか、伺いそびれて残念に思っているが、多分御帰朝後あちらの婦人の軽装が幼児のあつかいにふさわしいこと、また大震災などの不時の災害には和服ではめだるくお感じになつてのことか。何事にも先見の明のお方故現在の一般化した姿をかの時ずでにおさとりになつてのことか、うまくゆけばとのお見込みが外れ、さぞやがっかりなされたことであろう。この話は今もって興を伴う語り草になっており、その度に冷汗をかき思ひである。

さて先生のもう一つの面をあらわす一事件といえは大げさであるが忘れられないことがある。先生は情熱に燃えるのかごとくに見える時も多いが、別の一面、例えば大川の水面はかすかな風にもそよぎを見せる風情でありながら底の流れは動きなくただただ上流から下流へと滔々と冷然として流れて行く、それに似たお心構えであったように思う。こんなこと

があつた。実習生室の掲示板に一片の紙が貼られ、それは東京女子高等師範学校という公用箋であつた。だれがこれを私用に使つたかといつに似ずきびしい語調で問われたが、すぐにはわからなかつた。それが何と私の組の学生であつたことがわかり、どうも先生はお心が解けなかつた様子、このまま

では相すまぬと私は夜になつてお宅に伺い、不行届をひたすらお詫びして歸つた。つまり公私の別は明らかにすべしとのお心の厳しきまでに守られた一例であつた。以来形はいろいろに変われど、このお心持ちはありがたき誠めとなり、また先生の尊きを思うよすがになつて長く私の心の中に生きてゐる。

かゝて今は勁く誓言わんみ教へを  
守りゆくべし金うすべし

幼稚園の職につきたるまゝはひも  
この先達の師にあひりこと

桐の花紫こめて青空に

咲くを〜みれど師の徳はる

必ずや新茶のときは師をかみ

徳らひあひぬ菓子を忍らひて